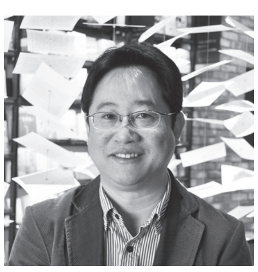
軽井沢ライフのための情報紙 ● Karuizawa News Paper
No.200（毎月10日頃発行）

# 軽井沢新聞

2月号 February 2020

編集局 Tel.0267-46-3001 Fax.0267-46-3880
〒389-0111 長野県軽井沢町長倉 2380-27
身近な情報を編集局までお寄せ下さい ● E-mail info@karuizawa.co.jp
広告に関するお問い合わせ ● 株式会社アドエイド Tel.0267-46-0055

## 軽井沢人物語



八木書店 代表取締役社長

**八木 唯貴** さん

### 神保町の老舗書店を継ぎ、アウトレット本の専門店を開業

祖父の八木敏夫さんが 1934 年、神田神保町で創業した八木書店を継ぐ３代目。古書を販売する上階に住まいがあり「本の匂いを嗅ぎながら育ちました」。

システムエンジニア、学術出版社での営業を経て 1996 年入社。それまでなかった営業部門を立ち上げ、全国の大学や公共図書館、博物館を巡って、専門書の顧客を開拓。全米からアジア研究の教授が集まる「北米アジア学会」にも 2000 年から毎年出店し、海外の大学にも販路を広げている。2010年、社長に就任した。

古書売買のほか、新刊取次、日本文学研究書の出版なども手がける。アウトレット本（販売開始から一定期間を経て、出版社が定価販売の指定を外した書籍）の卸売事業は、業界トップシェア。200 社を超える出版社の 15000 タイトル以上を取り扱い、近年は英米の洋書も輸入している。

「右肩あがりの頃は、あえてアウトレット本を置かなくても、新刊書店は収益が見込めていました。最近は、新刊書店でも扱っていただけるところが増えていますね」

昨年 11 月、日本初のアウトレット専門ブックショップ「PAGES」を、軽井沢・プリンスショッピングプラザにオープンした。

「本の種類によっては、時間が経っても価値が失われないものもある。故紙化されていたかもしれない本を、より活かして行くことが私たちの使命だと考えています」

旅行と自然が好きで、20 代は北海道にはまり、30 代は欧米の国立公園を巡り歩いた。東京暮らしからの脱却を夢見ていた 2007 年夏、旅行で軽井沢に滞在。ふらっと立ち寄った不動産屋で紹介された場所が気に入り、翌年の７月に移住した。妻、娘２人と４人暮らし。一生縁がないと思っていたゴルフは、軽井沢の友人に誘われ、いざ始めてみると夢中になった。

「自然の中でプレーするのが気持ちよくって。朝起きて晴れていたら、『きょう行こう』って判断できる。東京だとこうはいきませんね」

平日は東京と往復する通勤族。週末は軽井沢の店舗へも足を運ぶ。「大変さももちろんありますけど、多くのお客さまに励ましの言葉を頂き、やりがいを感じています」と、日本初のアウトレット書店の運営を楽しんでいる。

## 2026年度の開庁へ、複合施設も隣接か
# 新庁舎と周辺整備、協議進む

建築から 50 年以上が経過し、改築に向け協議が進む現庁舎。

老朽化が進む軽井沢町役場庁舎（1968年建築）の改築と、庁舎周辺の整備のあり方について考える協議が、庁内外で始まっている。

役場の若手職員からなるプロジェクトチームと、各課長らで構成する庁内検討委員会（委員長・柳澤宏副町長）は2019年4月から、基本計画、基本設計策定に向け、新庁舎の基本理念や施設の配置、必要機能などを協議。そこで集約した内容は昨年12月11日、外部有識者らによる検討委員会に諮られた（初回のみ非公開）。委員は、学識経験者や公共団体役員、一般公募などからなる19人で、会長に信州大学工学部准教授の藤居良夫さんが就いた。

### 総務常任委、町民ワークショップも

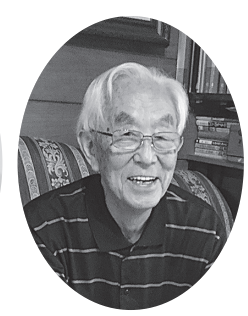
町が新庁舎の基本理念として示したのは「安心安全を支える防災拠点としての庁舎」「環境に配慮した庁舎」「利用者に寄り添う庁舎」「国際親善文化観光都市として品位と調和を備えた庁舎」「機能的・効率的な庁舎」の５つ。現在、庁舎と別の施設に点在する総務課防災係、保健福祉課、教育委員会も新庁舎に統合する予定だ。現中央公民館（1976年度建築）の代替施設として、公民館の機能を維持した複合施設を、新庁舎に隣接させる考えを示した。

2021年度までに新庁舎と複合施設の基本計画、23年度までに新庁舎の基本設計・実施設計を定める。24・25年度で新庁舎の建設工事を行い、26年度の開庁を目指す。複合施設は27〜28年度の着工を計画している。

建設事業費の概算は新庁舎35億円、複合施設25億円を想定。今回の整備にあわせ、町は15年度から毎年、３億円ずつ基金を積み立てている。

町へ新庁舎についての意見書提出を考えている、町議会総務常任委員会は３月14日、町民参加型のワークショップを企画。軽井沢町商工会館で19時から行うという。

## 東京五輪の聖火ランナーに
# 軽井沢から２人



村岡清一さん

関野佑平さん

東京オリンピックの聖火リレーで、長野県内を走る一般公募ランナー22人が12月17日公表され、軽井沢町からは村岡清一さん（96）と、関野佑平さん（13）が選ばれた。

県内最高齢ランナーの村岡さんは、決定の知らせを聞き「びっくりしたね」。周りから祝福の声をかけられるも、本人はまだ、おめでたい気持ちになれない。「練習中に足をくじいたら走れないし、風邪をひいてもだめ。４月２日に、笑顔で無事に走り切って初めて喜びたい」と、風越公園総合体育館で週２回のランニングを続ける。

関野さんの末弟は、元気に退院した男児として世界最小（体重258ｇ）で一昨年、誕生した竜佑ちゃん。「弟は多くの人に命をつないでもらった。僕も聖火をつなぐことで、人のためになりたいと思った」と応募の動機を語る。また「走れるのは弟のお陰でもある。家族に感謝しながら走りたい」と微笑んだ。

県内の聖火リレーは４月２〜３日、軽井沢を皮切りに14市町村を巡る。軽井沢は風越公園アイスアリーナから湯川ふるさと公園まで。各ランナーが走る区間は３月中旬に発表される。公募のランナーは22人の定員に対し、倍率100倍以上の2328人の応募があった。


「家のリフォーム」は三井のリフォーム軽井沢店へ

※住宅リフォーム補助金が支給されています。詳しくはお問合せください。

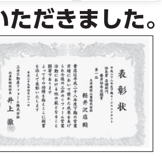
三井のリフォーム 5つのお約束

1. お客様のご要望をすべてお聞きします。
2. 資格の無い監督には任せません。
3. 追加工事はお客様のご確認いただいた後で。
4. 価格以上の満足をご提供します。
5. 今まで過ごされた思い出を大切にします。

リビングダイニング　寝室・和室・書斎　洗面・トイレ
キッチン・浴室　外観・エクステリア　水漏れ・雨漏り

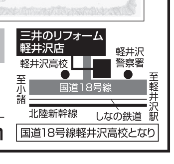
あなた様のご予算に合わせてご提案させていただきます。

全国第1位の社長表彰をいただきました。




軽井沢町 住宅リフォーム補助金 対象企業
リフォーム一筋20年
都市に豊かさと潤いを 三井不動産グループ
三井のリフォーム 軽井沢店
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町大字軽井沢1323-42〈営業時間〉9:00〜18:00
悩んでいないで、まずはお電話ください！
見積り無料!!
(0120)278-321
大井建設工業株式会社
◎一級建築士事務所許可(佐久)I第66058号
◎長野県知事許可(特般-22)第12426号

WEBで検索! 三井のリフォーム軽井沢店 検索
ホームページが新しくなりました。
www.karuizawa-reform.com
メール karuizawa@mitsui-reform.com



国道18号線軽井沢高校となり



つちや整骨院がリニューアルオープン

今までのおケガや痛みに対する柔道整復科に加え、鍼灸と炭酸を使った、美容・健康増進のためのサロンルーム**ソラーナ（完全予約制）**も併設しています。どうぞお気軽にご利用ください。

佐久地域唯一！
炭酸整体® CARBONIC AIR SPRAY
細胞レベルで修復、美容成分配合、オーガニック炭酸整体スプレー
美容 痛み スポーツ 気になる部分にスプレー！

| 受付時間 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 | 休診日 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 午前7:30〜12:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 日曜・祝日 |
| 午後2:30〜7:00 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ／ | 土曜午後 |

つちや整骨院【健康保険適用】
柔道整復師 院長 土屋 歩
鍼灸、あん摩、マッサージ、指圧師 土屋 まみ
0267-45-6255
軽井沢町大字長倉2383-1（旧土屋接骨院）